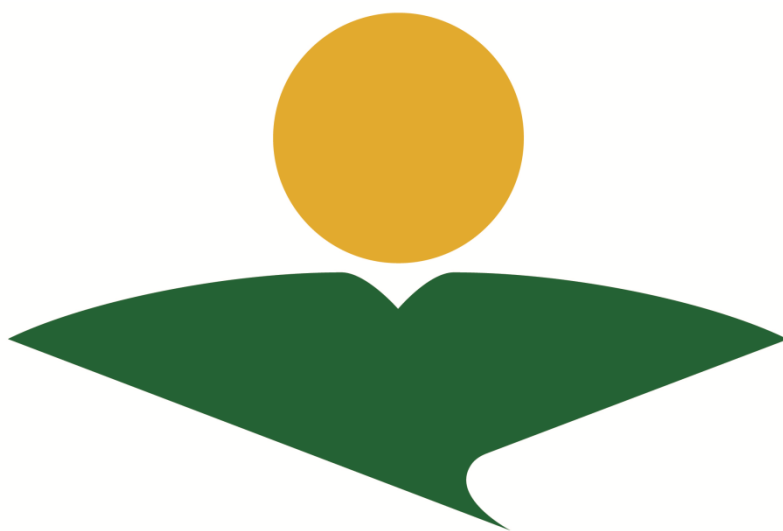


2024（令和6）年度 事業報告書

※事業年度 2024年4月1日～2025年3月31日



学校法人銀杏学園 熊本保健科学大学

Kumamoto Health Science University

目 次

I 法人の概要

- 1 基本情報
- 2 建学の精神、基本理念、ミッション及びタグライン
- 3 沿革
- 4 設置する学校・学部・学科等
- 5 学生数の状況
- 6 収容定員充足率
- 7 役員の概要
- 8 評議員の概要
- 9 教職員の概要
- 10 卒業生の概要

II 事業の概要

- 1 主な事業の内容
 - (1) 全体概要
 - (2) 教育に関すること
 - (3) 研究に関すること
 - (4) 経営に関すること
- 2 学生の動向
 - (1) 入学試験における志願等の状況
 - (2) 国家試験の合格状況
 - (3) 卒業生の進路状況

III 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書（過去 5 年分）
- 2 貸借対照表（過去 5 年分）
- 3 財務比率（過去 5 年分）

私立学校法の一部を改正する法律（平成 16 年法律第 42 号）の施行に伴う文部科学省通知（16 文科高第 304 号）で示された様式に従い、①法人の概要、②事業の概要、③財務の概要に区分して作成。

また、令和元年 9 月 27 日付け文部科学省通知（元文科高第 518 号）で示された事業報告書の様式を参考に、一部記載内容を追加している。

I 法人の概要

1 基本情報

(1) 法人の名称

学校法人 銀杏学園

(2) 主たる事務所

住 所 熊本県熊本市北区和泉町亀の甲 325 番地

電話/FAX 番号 096-275-2111／096-245-3126

ホームページ <https://www.kumamoto-hsu.ac.jp>

2 建学の精神、基本理念、ミッション及びタグライン

(1) 建学の精神

優れた医療技術者の養成を通じて社会に貢献すること

(2) 基本理念

本学は、「知識」「技術」「思慮」「仁愛」を四綱領とし、以下の基本理念を掲げています。

- 1) 保健医療分野に関する専門知識技術の教育と研究を行う
- 2) 人間と社会に深い洞察力を持つ人材の育成
- 3) 高度な知識と技術を有し、保健医療分野に貢献できる人材の育成
- 4) 豊かな人間性を備え、創造性に富む、活力ある人材の育成

(3) ミッション

建学の精神や基本理念を踏まえ、本学のミッションを次のように定めています。

保健医療分野の教育と研究を通して社会に貢献できる医療技術者を養成する。

(4) タグライン

「生きる」をひらく かけがえのない一人に

3 沿革

1959(昭和 34)年 4 月	化血研衛生検査技師養成所 創設
1960(昭和 35)年 4 月	熊本医学技術専門学校と名称変更
1968(昭和 43)年 4 月	学校法人银杏学園 银杏学園短期大学 開学
1971(昭和 46)年 1 月	専攻科設置
1973(昭和 48)年 4 月	3 年制への学制変更による短期大学 発足
1983(昭和 58)年 4 月	2 年制の看護科設置
2003(平成 15)年 4 月	熊本保健科学大学 開学 (保健科学部 衛生技術学科、看護学科)
2007(平成 19)年 4 月	熊本保健科学大学 リハビリテーション (リハ) 学科 新設 (理学療法学専攻、作業療法学専攻) 熊本保健科学大学 助産別科 新設
2009(平成 21)年 4 月	大学院保健科学研究科 保健科学専攻 (修士課程) 開設 (臨床検査領域、リハ領域) 熊本保健科学大学キャリア教育研修センター 開設
2009(平成 21)年 10 月	キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 新設 (脳卒中リハ看護分野)
2011(平成 23)年 4 月	衛生技術学科を医学検査学科と改称 リハ学科言語聴覚学専攻 新設
2012(平成 24)年 4 月	認定看護師教育課程 (慢性心不全看護分野) 新設
2013(平成 25)年 4 月	リハ学科作業療法学専攻を生活機能療法学専攻と改称
2017(平成 29)年 4 月	地域包括連携医療教育研究センターを設置 (～2021 年度末) 認定看護師教育課程 (認知症看護分野) 新設
2018(平成 30)年 4 月	学生相談・修学サポートセンターを設置
2019(令和元)年 10 月	生物毒素・抗毒素共同研究講座 設置
2020(令和 2)年 4 月	認定看護師教育課程 (脳卒中看護分野) 開設 キャリア教育研修センター特定行為研修課程 新設
2020(令和 2)年 10 月	品質保証・精度管理学共同研究講座 設置
2021(令和 3)年 4 月	アカデミックスキル支援センターを設置
2022(令和 4)年 4 月	健康・スポーツ教育研究センターを設置 大学院保健科学研究科 保健科学専攻 看護領域 開講

4 設置する学校・学部・学科等

○熊本保健科学大学／保健科学部

医学検査学科

看護学科

リハビリテーション学科

理学療法学専攻、生活機能療法学専攻、言語聴覚学専攻

○熊本保健科学大学大学院／保健科学研究科／保健科学専攻(修士課程)

○熊本保健科学大学助産別科

○熊本保健科学大学キャリア教育研修センター

認定看護師教育課程／脳卒中看護分野、認知症看護分野

特定行為研修課程

5 学生数の状況

※2024(令和6)年5月1日現在

学部	学科／専攻		入学定員	入学者数	収容定員	現 員 数				
						1年次	2年次	3年次	4年次	合計
保健科学部	医学検査		100	115	400	121	125	117	108	471
	看護		100	123	400	123	131	119	97	470
	リハビリテーション	理学療法学	60	75	220	79	77	62	39	257
		生活機能療法学	40	32	160	33	39	40	35	147
		言語聴覚学	40	51	160	51	34	29	41	155
		リハ学科 計	140	158	540	163	150	131	115	559
	保健科学部 計		340	396	1,340	407	406	367	320	1,500
	保健科学研究科		10	17	20	17	18	—	—	35
	助産別科		20	21	20	21	—	—	—	21
	キャリア教育研修センター		22	23	22	23	—	—	—	23
	学生数 合計		392	457	1,402	—	—	—	—	1,579

6 収容定員充足率

※毎年度5月1日現在

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
保健科学部	1.13	1.12	1.11	1.12	1.12
保健科学研究科	0.70	0.75	1.00	1.40	1.75
助産別科	1.05	1.00	1.00	1.05	1.05

7 役員の概要

※2025(令和 7)年 3 月 31 日現在

(1) 理事／定員 9～13 名、現員 13 名

区 分	氏 名	選任区分	就任年月日	主な現職等
理事長	木 下 統 晴	理事の互選	R3.3.19	銀杏学園理事長
理事	竹 屋 元 裕	学 長	H31.4.1	熊本保健科学大学学長
理事（外部理事）	福 田 稠	評議員	H29.3.19	熊本県医師会会長
理事	檜 原 真 二	評議員	R2.4.1	熊本保健科学大学副学長
理事	渡 辺 雄 一	評議員	R3.3.19	熊本保健科学大学学部長
理事	河 瀬 晴 夫	評議員	R5.3.19	熊本保健科学大学事務局長
理事（外部理事）	梶 田 浩	評議員	R3.3.19	化学及血清療法研究所副理事長
理事（外部理事）	内 野 誠	評議員	R5.3.19	くまもと南部広域病院名誉院長
理事（外部理事）	副 島 秀 久	学識経験者	H29.3.19	恩賜財団済生会支部 熊本県済生会支部長
理事（外部理事）	高 橋 毅	学識経験者	H29.3.19	熊本医療センター院長
理事（外部理事）	猪 股 裕紀洋	学識経験者	H29.3.19	熊本労災病院名誉院長
理事（外部理事）	永 里 敏 秋	学識経験者	R3.3.19	KM バイオロジクス株式会社 代表取締役社長
理事	木 下 統 晴	学識経験者	H31.3.19	銀杏学園理事長
理事	古 閑 陽 一	学識経験者	R5.3.19	熊本保健科学大学特命副学長

(2) 監事／定員 2 名、現員 2 名

区 分	氏 名	就任年月日	主な現職等
監事（常勤）	安 高 純一郎	R5.3.19	銀杏学園前理事長特別補佐
監事	林 田 喜 一	H31.3.19	税理士

※役員賠償責任保険契約の状況

1. 保険名：私大協役員賠償責任保険制度
2. 保険責任期間：令和 6 年 4 月 1 日午後 4 時～令和 7 年 4 月 1 日午後 4 時
3. 記名法人名：学校法人銀杏学園
4. 被保険者：（個人被保険者）学校法人銀杏学園役員 理事、監事及び評議員
（記名法人）学校法人銀杏学園
5. 補償内容：法律上の損害賠償金、争訟費用、損害賠償請求対応費用、公的調査等対応費用、刑事手続対応費用、財産または地位の保全手続等対応費用、信頼回復広告費用、補償契約に関する補償、法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用
6. 契約者（団体）：日本私立大学協会
7. 引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

8 評議員の概要

※2025(令和7)年3月31日現在

評議員／定員 19～27 名、現員 27 名

氏 名	選任区分	就任年月日	主な現職等
竹 屋 元 裕	法人職員	R1.5.29	熊本保健科学大学学長
檜 原 真 二	法人職員	H31.3.19	熊本保健科学大学副学長
古 閑 陽 一	法人職員	R5.3.19	熊本保健科学大学特命副学長
渡 辺 雄 一	法人職員	R3.3.19	熊本保健科学大学学部長
河 瀬 晴 夫	法人職員	R2.4.1	熊本保健科学大学事務局長
勝 木 康 子	法人職員	R5.3.19	熊本保健科学大学事務局次長
瀧 口 巖	卒業生	H25.3.19	熊本保健科学大学同窓会連合会会長
原 田 精 一	卒業生	H29.3.19	同医学検査学科同窓会会長
高 橋 知恵美	卒業生	R5.11.29	同看護学科同窓会会長
平 尾 章 悟	卒業生	R5.9.20	同リハビリテーション学科同窓会会長
池 田 夕 希	卒業生	H29.3.19	同助産別科同窓会会長
福 田 稔	学識経験者	H19.3.19	熊本県医師会会長
園 田 寛	学識経験者	H30.11.29	熊本市医師会会長
福 吉 葉 子	学識経験者	H30.11.29	熊本県臨床検査技師会副会長
本 尚 美	学識経験者	R3.3.19	熊本県看護協会会長
坂 崎 浩 一	学識経験者	H30.11.29	熊本県理学療法士協会会長
牛 島 由紀雄	学識経験者	R5.9.20	熊本県作業療法士会会長
池 田 健 吾	学識経験者	R3.5.27	熊本県言語聴覚士会副会長
馬 場 秀 夫	学識経験者	R3.5.26	化学及血清療法研究所理事長
平 田 稔 彦	学識経験者	H31.3.19	熊本赤十字病院院長
米 満 弘一郎	学識経験者	H29.3.19	寿量会理事長
毛 利 浩 一	学識経験者	H29.3.19	株式会社フードパル熊本代表取締役
杉 光 定 則	学識経験者	R5.3.19	熊本バスケットボール株式会社顧問
馬 場 啓	学識経験者	H29.3.19	銀杏学園顧問弁護士
梶 田 浩	学識経験者	R3.3.19	化学及血清療法研究所副理事長
内 野 誠	学識経験者	R5.3.19	くまもと南部広域病院名誉院長
越 猪 浩 樹	学識経験者	R5.3.19	壺溪塾水前寺校校長（元熊本高校長）

9 教職員の概要

(1) 教員数 ※ () は兼任を含む。 ※2024(令和 6)年 5 月 1 日現在

学部	学 科	専 任 教 員 数					臨時 教員	兼任	合計
		教授	准教授	講師	助教	計			
保健科学 部	医学検査学科	14	8	6	0	28	0	189	310
	看護学科	8	10	10	2	30	27		
	リハビリテーション学科	13	12	8	3	36	0		
保健科学部 計		35	30	24	5	94	27		
保健科学研究科		3(28)	0(16)	0(10)	0(2)	3(56)	—	14	17(56)
助産別科		1	1	1	0	3	—	23	26
各種センター		4(4)	2(3)	1(3)	1(2)	8(12)	—	50	58(12)
共同研究講座		2	0	0	1	3	—	1	4
合 計		45	33	26	7	111	27	277	415

(2) 職員数 ※2024(令和 6)年 5 月 1 日現在

正職員	嘱託	パート (アルバイトも含む)	派遣	合計
33	28	15	4	80

10 卒業生の概要

※2025(令和 7)年 3 月 31 日現在

※卒業生総数：11,291 名

- (1) 熊本医学技術専門学校 卒業生 327 名
- (2) 銀杏学園短期大学 卒業生 4,327 名
衛生技術科 3,457 名、衛生技術専攻科 14 名、看護科 856 名
- (3) 熊本保健科学大学 卒業生 6,637 名 (令和 6 年度卒：371 名)
医学検査学科(含:旧名称) 2,044 名 看護学科 2,105 名
リハビリテーション学科 1,729 名
理学療法学専攻 662 名、生活機能療法学専攻(含:旧名称) 608 名、
言語聴覚学専攻 459 名
助産別科 362 名
大学院保健科学研究科 132 名
キャリア教育研修センター認定看護師教育課程 260 名
脳卒中看護(含:旧課程)142 名、慢性心不全看護 24 名、認知症看護 94 名
キャリア教育研修センター特定行為研修課程 5 名

Ⅱ 事業の概要

1 主な事業の内容

(1) 全体概要

2024(令和 6)年度は、2019～2030 年度までを見据えた 12 年間の中長期計画の折り返しを迎える時期となりました。第Ⅱ期中期計画（2023 年度から 4 年間）の初期に立ち上げた 20 のワーキングまたはプロジェクトについて、いずれも所期の目標を概ね達成しており、計画が着実に実行されています。特に、広報プロジェクトによる戦略的な広報活動や入試制度の戦略的な改善による入学者確保に向けた取組みは、18 歳人口が減少している中であって入学定員の 120%超の学生を確保するなど、顕著な成果を上げています。

また、私立大学等経常費補助金に係る新たに創設された「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援（キラリと光る教育力）」に選定されました。この中で取り組むこととしている組織の再編のうち、公衆衛生看護学専攻科の開設については 8 月付けで文部科学省から許可され、リハビリテーション学科で申請していた日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの養成校としての指定も 3 月付けで得ることができました。認定看護師教育課程については、福岡脳神経外科病院との協定に基づく福岡キャンパスの稼働により、脳卒中看護分野と認知症看護分野の同時開講を実現することができました。

高大連携の面では、熊本サイエンスコンソーシアム（KSC）との協定に基づき、鹿本高校及び熊本西高校の生徒に対して合計 3 件の研究支援（看護学科 2 件、共通教育センター 1 件）を行い、3 年連続して実績を積み重ねることができました。また、9 月には北里柴三郎顕彰事業の一環として北里柴三郎記念研究セミナーを本学で開催し、KSC に加盟する 5 つの高校の生徒たちが、日頃の研究の成果を発表しました。

(2) 教育に関すること

1) アドミッションポリシー（入学者受入れ方針）に適合した入学者確保

〔目標 1〕学科・専攻ごとの目標入学者数の確保（達成率 100%）

〔目標 2〕各学科・専攻における志願者数の増加（総志願者数 1,300 人）

- ・医学検査学科では目標数 120 名/入学者数 121 名(達成率 101%)、看護学科では目標数 120 名/入学者数 138 名(達成率 115%) であり、いずれも目標を達成した。リハ

ハビリテーション学科では目標数 168 名/入学者数 158 名(達成率 94%) であった。学部全体では目標数 408 名(定員の 120%) に対し 417 名(同 123%) であった。

【目標 1 達成率 100%】

- ・志願者数は医学検査学科、看護学科、リハビリテーション学科言語聴覚学専攻においては増加したが、リハビリテーション学科理学療法学専攻及び作業療法学専攻では減少した。学部の総志願者数は 1,033 名で前年度比 105.3%と増加したが、目標人数(1,300 名) には達しなかった。なお、18 歳人口が減少している中であって、次年度の目標人数を今年度実績よりも 6%増の 1,100 名と設定している。

【目標 2 達成率 80%】

- ・志願者数は、熊本県の 18 歳人口が底の年であった前年に比して、わずかながら増加に転じた。入試区分別でみると、学校推薦型選抜(指定校) が前年比 183%と増加したことや、大学入学共通テスト利用選抜(前期) の志願者が前年比 115%と増加したことが志願者増の理由としてあげられる。しかし、他の入試区分では、志願者は総じて減少しており、厳しい環境の中にあることは続いている。継続して、効果的な広報とともに特色・魅力のある教育内容により他大学との差別化を図っていく必要がある。

2) 質の高い医療技術者の養成

〔目標 1〕適切な学外実習先の確保と連携強化による実習教育の充実

〔目標 2〕各種連携事業を活用した実習等による実践力強化

〔目標 3〕プラスアルファの資格・技能などによる他校との差別化

- ・適切な実習先の確保と連絡・調整を密にすることにより実習教育の質を担保した。

【目標 1 達成率 100%】

- ・リハビリテーション学科を中心に、水上村、阿蘇市、天草市、熊本ビューストピンディーズ、鶴屋百貨店などで実施した。

【目標 2 達成率 100%】

- ・医学検査学科では心電図検定など延べ 65 名が資格取得した。特に本年度は、1 名が最難関の心電図検定 1 級に合格した。看護学科では、学部学生全員が学外で地域の住民を対象に「健康教育」を実施するなど保健指導や健康教育に関する知識や技術を高めることに取り組んだ。また、リハビリテーション学科では、日本トレーニング指導者協会(JATI) 及び日本スポーツ協会(JSPO) 認定のアスレティックトレーナーの資格取得に向けた指導を開始するなど行った。

【目標 3 達成率 100%】

3) 学生の主体的学びにつながる支援体制の強化

〔目標 1〕スモールグループ担任のサポート内容の平準化(基準の策定)

〔目標 2〕高水準の進級率と規定年数内卒業率の維持(規定年数内卒業率 88%以上)

- ・スモールグループ検討ワーキンググループによって「担任の手引き」を改定し、学

生支援の基準をより明確にした。改定版は3月に専任教員全員にメール配信した。また、夏のFD研修で医学検査学科を対象としたSG制度に関する話し合いを持ち、結果をもとに3・4年次のSGグループ編成方法について学科に提言を行うなどし、医学検査学科内で編成方法について検討がなされた。また、SG担任によるポートフォリオ面談については、面談の時期となっている4月及び10月に全学的に周知し、全学的に取り組みを行っている。【目標1達成率100%】

- ・令和7年3月卒業の学生の規定年数内卒業率は、医学検査学科83.8%、看護学科87.6%、リハビリテーション学科理学療法学専攻77.3%、同生活機能療法学専攻87.5%、同言語聴覚学専攻88.1%であり、学部全体では85.1%であった(目標値88%に対して97%の達成)。全国平均は82.5%であり全国平均は上回っているが、年々わずかながら低下している傾向にある。特に理学療法学専攻においては前年比89.2%に低下しており、3年次から4年次への進級率が低下していた。全学的には、2年次から3年次への進級率が低くなっており、継続した課題として取り組む必要がある。理学療法学専攻を中心に、すべての学科・専攻で留年・退学者の実態について要因分析を行い、改善に繋げていく。【目標2達成率97%】

4) 高水準の国試合格率と就職率の堅持

〔目標1〕90%以上かつ4年制大学新卒平均を上回る国試合格率の達成

〔目標2〕就職率100%の堅持

- ・国家試験の合格率は、理学療法士、保健師、助産師の合格率は100%であった。臨床検査技師95.2%、看護師99.0%、作業療法士97.1%、言語聴覚士97.4%であり、すべての資格で4年制大学新卒平均を上回り、目標を上回った。

【目標1達成率100%】

- ・3月31日現在の進路決定率(就職+進学)は、医学検査学科95.1%、看護学科97.9%、リハビリテーション学科理学療法学専攻100%、同生活機能療法学専攻97.0%、同言語聴覚学専攻97.5%であり、全体では97.1%であった。卒業年度内での就職率100%には達しなかったが、卒業後も引き続き支援を続け100%に近づける予定である。卒業年度内の就職率をもとに達成率を算出しており、今後も早期の就職活動支援をさらに進め、年度内就職率100%を目指していく。【目標2達成率97%】

(3) 研究に関すること

1) 不正使用防止計画推進室と連携した適正な研究活動の推進のための体制整備

〔目標1〕監査体制の強化(令和6年度中)

〔目標2〕現行の研究費取扱い手引きの見直し及びその内容の周知徹底(令和6年度中)

- ・「不正使用防止計画推進室」の活動内容を見直し、実効性のある取り組みを行なった。具体的には、①PDCA サイクルをうまく回す仕組みを取り入れ、②不正使用防止計画の大幅な見直しを行い、③研究者用の自己点検チェックリスト及びそのポイントを作成・配付した。また、内部監査室の本格的活動（啓発活動への参加や科研費監査の強化、PDCA サイクルの評価など）によって、監視体制の強化をはかることができた。

【目標 1 達成率 100%】

- ・従来の「研究費取扱い手引き」の内容を全面的に見直し、研究費の取扱いだけでなく、本学で研究を行うにあたって必要な支援情報や注意点を網羅した研究支援マニュアル「研究活動の手引き」を作成した。その中で、特に周知すべき内容は「研究倫理・不正防止に関する研修会及び研究費の適正使用に関する研修会」で説明を行った（受講率 100%）。

【目標 2 達成率 100%】

2) 学内共同研究の推進

〔目標 1〕再構築した学内研究費制度に基づく学内共同研究の活性化(令和 6 年度中)

- ・学内研究費 (P&P) の学内共同研究を支援するための研究種目である A タイプは、継続課題 1 件、今年度の審査では 1 件採択され、共同研究の輪が広がりつつある。

【目標達成率 100%】

3) 研究者(特に若手)の人材育成推進と研究環境の整備

〔目標 1〕研究費獲得や研究の進め方に関するコンサルテーション制度の積極的運用

〔目標 2〕研究者へのアンケートを通じたニーズの把握と対策の構築(令和 6 年度中)

- ・今年度は初めて研究費獲得支援サービスを提供する企業と契約し、i) 研究計画調書(申請書)の添削、ii) 科研費セミナーを 2 回、iii) 科研費応募のためのハンドブック作成、iv) 研究者からの個別相談などのサービスを受けた。教員からは好評であり、申請書の添削希望者は契約数を上回る 20 件であった(採択 6 件/20 件中)。

〔間接経費の有効活用〕 【目標 1 達成率 100%】

- ・「研究倫理・不正防止に関する研修会及び研究費の適正使用に関する研修会」において、受講した教職員に対して研究費に関するアンケートを実施し、ニーズの把握や対応について検討を加えた。その結果、今年度は経費執行時の自己点検チェックリストを作成して研修会等で周知をした。
- ・「研究に関するアンケート 2023」で要望が挙げられていた Wi-Fi 設置については、IR・情報システム室と連携して検討を行い、2・3 号館の教員室や研究スペース等の研究で必要な場所に設置した。〔間接経費の有効活用〕 【目標 2 達成率 100%】

(4) 経営に関すること

経営に関しては、第Ⅱ期中期計画の期間中に達成すべき目標に対する2年目までの達成率を示している。

1) 財務基盤の強化

〔目標〕 既存支出の見直し（収支管理の適切な可視化）

- ・学内での常勤理事会において、四半期毎に予実管理を実施する仕組みづくりを行った。具体的には経理課よりその時点での昨年度と対比した実績一覧を作成し、現状把握に努めた。達成率を100%にするために、今後は実施内容/取扱いデータをさらにブラッシュアップしていく。【目標達成率 80%】

- ・経常収支の将来推計を試算し、財務基盤の強化の一環として、令和8年度入学生から学納金の値上げを行う。既存支出の見直しとして学外実習の際の旅費交通費の大学負担について、競合校同様に学生負担に切り替えることも検討を進めたが、今回の学納金の値上げに包含することとし、逆に大学負担であることを本学の強みとして広報していくことにより、令和8年度入学生の確保に繋げる。

【目標達成率 90%】

2) 管理運営・ガバナンスの強化

〔目標〕 私学法改正に沿った理事会・評議員会の機関設計や内部統制システムの整備等（対計画進捗率 100%）

- ・私立学校法改正に沿って、以下を計画どおり実施した。

① 「理事会・評議員会の機関設計／寄附行為の変更等」

② 文部科学省令の内容に沿った「内部統制システム」の整備

期限であった令和7年3月31日までにすべての整備を終了することができた。今後は整備した内部統制システムの運営に注力していく。【目標達成率 100%】

3) 教職員組織の充実

〔目標〕 更なる充実した研修制度の構築／評価制度見直し等のモチベーション向上策など（対計画進捗率 100%）

- ・「研修制度構築」については、実施方針と体系図の整備が完了した。FD委員会との連携により、令和7年度より順次、計画実行する。「評価制度の見直し」は、現時点で着手できていないので、現状の課題の洗い出しから行い、令和9年3月までに制度改善やモチベーション向上につながる表彰制度の創設等を実現する。

【目標達成率 50%】

4) 健康寿命延伸など地域の課題に対する産官学連携による先導した取り組みの推進など

〔目標1〕 行政・企業・財団・医療機関との連携強化

- ・多くの行政や民間施設と連携を推進しているが、一例として、水俣市における地域課題の1つである、医療従事者の確保を目的として水俣市／水俣市立総合医療センターと連携し水俣高校生徒へ医療職紹介のガイダンスを実施した。また、総合的な探究の時間では保健医療系のテーマについて、本学教員が現地又は Zoom 等で指導するなど生徒達の医療系職種の掘り起こしを行うとともに、水俣市立総合医療センターも本学進学者向けの奨学金制度を設けるなど課題解決に向けて仕組化を進めている。第二期中期計画期間中に、水俣市立総合医療センターの奨学金制度を活用した生徒の受入れを目指す。
- ・阿蘇市においては、阿蘇中央高校の生徒と本学学生とで高齢者の健康寿命の延伸を目的としたプロジェクトを実施しており、具体的には体力測定を通してデータ解析を行い、それを基にアドバイスを行って生活習慣を改善していく活動を行っている。

【目標 1 達成率 80%】

〔目標 2〕小・中・高校との連携強化

- ・小・中学生を対象とした「からだのふしぎ探検」を 7 月に開催し想定を上回る 300 名近くの参加者（同伴者込み）があった。進路選択の早期化を意識して、早い段階からの保健医療職への興味付けを実施できるよう工夫していき、参加者の本学への進学へと繋げていく。
- ・SSH（スーパーサイエンスハイスクール）高校を中心とした KSC（熊本サイエンスコンソーシアム）高校の 8 校を対象に NEXT 北里柴三郎をスローガンとして研究記念セミナーを 9 月に開催し、北里英郎先生の講演や高校生の研究発表などを実施した。KSC との協定に基づく研究支援の実績をさらに進め、支援を行った生徒が本学への進学を目指しやすい制度等も構築していく。

【目標 2 達成率 70%】

〔目標 3〕令和 7 年度からの保健師専攻科の設置準備（対計画進捗率 100%）

- ・令和 7 年度からの保健師専攻科（公衆衛生看護学専攻科）の設置は予定どおり完了し、入学定員も無事に満たしている。

【目標 3 達成率 100%】

2 学生の動向

(1) 入学試験における志願等の状況

○保健科学部全体

	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
合 計	340	1,033	739	417	3.0	1.4

○保健科学部／医学検査学科

選抜区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
総合型	5	14	11	11	2.8	1.3
学校推薦型(指定校)	20	23	23	23		
学校推薦型(公募)	25	34	30	30	1.4	1.1
一般	40	121	97	44	3.0	1.2
共通テスト利用(前期)	5	100	75	9	20.0	1.3
共通テスト利用(後期)	5	7	6	4	1.4	1.2
合 計	100	299	242	121	3.0	1.2

○保健科学部／看護学科

選抜区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
総合型	5	17	10	10	3.4	1.7
学校推薦型(指定校)	15	19	19	19		
学校推薦型(公募)	30	64	38	38	2.1	1.7
一般	40	150	106	64	3.8	1.4
共通テスト利用(前期)	5	117	60	7	23.4	2.0
共通テスト利用(後期)	5	2	2	0	0.4	1.0
合 計	100	369	235	138	3.7	1.6

○保健科学部／リハビリテーション学科

選抜区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数	志願倍率	実質倍率
総合型	10	34	24	24	3.4	1.4
学校推薦型(指定校)	28	35	35	35		
学校推薦型(公募)	32	60	46	46	1.9	1.3
一般	53	122	84	47	2.3	1.5
共通テスト利用(前期)	10	111	71	4	11.1	1.6
共通テスト利用(後期)	7	2	1	1	0.3	2.0
社会人	若干名	1	1	1	----	----
合 計	140	365	262	158	2.6	1.4

○公衆衛生看護学専攻科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	10	10	10	10
一般	10	13	10	10
合 計	20	23	20	20

○助産別科

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	10	26	11	11
一般	10	40	10	10
合 計	20	66	21	21

○大学院保健科学研究科／保健科学専攻

入試区分	募集数	志願者数	合格者数	入学者数
推薦・社会人Ⅰ期	10	12	12	12
一般・社会人Ⅱ期		0	0	0
合 計	10	12	12	12

(2) 国家試験の合格状況

資 格 名	2022 年度		2023 年度		2024 年度		
	全国 (%)	本学 (%)	全国 (%)	本学 (%)	全国 (%)	本学 (%)	合格/受験 (人)
臨床検査技師	77.6	89.9	76.8	86.5	84.6	95.2	99/104
看護師	90.8	99.2	87.8	97.1	90.1	99.0	95/96
保健師	93.7	100	95.7	95.0	94.0	100	20/20
理学療法士	87.4	100	89.3	100	89.6	100	38/38
作業療法士	83.8	91.9	84.4	98.0	85.8	97.1	33/34
言語聴覚士	67.4	83.3	72.4	100	72.9	97.4	38/39
助産師	95.6	100	98.8	100	98.9	100	21/21

(3) 卒業生の進路状況

※2025(令和 7)年 3 月 31 日現在

注：九州には、沖縄も含む。卒業生には 2024(令和 6)年 9 月卒も含む。

【保健科学部全体】 ※県内就職率 58.6% (163/278)

卒業生数	315	※進路決定率 97.1% (300/309 その他を除く)			
就職者数	278	関連医療職	271	県 内	156
				県外(九州内)	79
				県外(九州外)	36
		上記以外	7 (資格不要)	県 内	7
				県 外	0
進学者数	22	(※1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に 専念する者です。			
未 定	9				
その他(※1)	6				

【医学検査学科】

卒業生数	104	※進路決定率 95.1% (98/103 その他を除く)			
就職者数	91	臨床検査技師	89	県 内	35
				県外(九州内)	39
				県外(九州外)	15
		上記以外	2 (資格不要)	県 内	2
				県 外	0
進学者数	7	(※1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未 定	5				
その他(※1)	1				

【看護学科】

卒業生数	97	※進路決定率 97.9% (93/95 その他を除く)			
就職者数	84	看護師	81	県 内	50
				県外(九州内)	16
				県外(九州外)	15
		保健師	3	県 内	3
				県 外	0
進学者数	9	(※1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に 専念する者です。			
未 定	2				
その他(※1)	2				

【リハビリテーション学科理学療法学専攻】

卒業生数	38	※進路決定率 100%（38/38 その他を除く）			
就職者数	34	理学療法士	34	県 内	22
				県外(九州内)	11
				県外(九州外)	1
進学者数	4				

【リハビリテーション学科生活機能療法学専攻】

卒業生数	35	※進路決定率 97.0% (32/33)			
就職者数	31	作業療法士	31	県内	28
				県外(九州内)	3
				県外(九州外)	0
進学者数	1	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に専念する者です。			
未定	1				
その他(*1)	2				

【リハビリテーション学科言語聴覚学専攻】

卒業生数	41	※進路決定率 97.5% (39/40)			
就職者数	38	言語聴覚士	36	県 内	21
				県外(九州内)	10
				県外(九州外)	5
		上記以外 (資格不要)	2	県 内	2
				県 外	0
進学者数	1	(*1) 就職を希望しない者、来年度の国家試験に 専念する者です。			
未 定	1				
その他(*1)	1				

【助産別科】

卒業生数	21	※進路決定率 100% (21/21)			
就職者数	21	助産師	21	県 内	13
				県外(九州内)	4
				県外(九州外)	4

Ⅲ 財務の概要

- 1 事業活動収支計算書（過去 5 年分）
- 2 貸借対照表（過去 5 年分）
- 3 財務比率（過去 5 年分）

Ⅲ 財務の概要

学校法人銀杏学園の令和6年度決算は、教育活動収入が2,800百万円、教育活動外収入が108百万円だったのに対し、教育活動支出は2,774百万円でした。この結果、経常収支差額は+134百万円（前年度比+131百万円）となり、収支の均衡を達成することができました。

1 事業活動収支計算書
(令和2年度～令和6年度)

		(単位：百万円)				
科目		R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
教育活動収支	収入					
	学生生徒等納付金	2,003	2,000	2,047	2,112	2,180
	手数料	33	33	34	34	36
	寄付金	52	33	26	33	28
	経常費等補助金	372	402	428	394	466
	付随事業収入	58	194	225	67	42
	雑収入	67	49	68	49	48
	教育活動収入の部	2,585	2,711	2,828	2,689	2,800
	支出					
	人件費	1,333	1,301	1,398	1,423	1,500
教育活動外収支	教育研究経費	946	993	1,054	1,153	1,092
	管理経費	199	234	301	204	182
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出の部	2,478	2,528	2,753	2,780	2,774
	教育活動収支差額	107	183	75	△ 91	26
	収入					
	受取利息・配当金	44	56	87	94	108
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入の部	44	56	87	94	108
	支出					
特別収支	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出の部	0	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	44	56	87	94	108
	経常収支差額	151	239	162	3	134
	収入					
	資産売却差額	0	0	0	0	25
	その他の特別収入	18	14	8	8	10
	特別収入の部	18	14	8	8	35
	支出					
基本金組入前当年度収支差額	資産処分差額	3	0	10	1	1
	その他の特別支出	0	0	0	0	0
	特別支出の部	3	0	10	1	1
	特別収支差額	15	14	△ 2	7	34
	基本金組入額合計	△ 398	△ 232	△ 105	△ 139	△ 94
	当年度収支差額	△ 232	21	55	△ 129	74
	前年度繰越収支差額	△ 3,358	△ 3,590	△ 3,190	△ 2,847	△ 2,976
	基本金取崩額	0	379	288	0	0
	翌年度繰越収支差額	△ 3,590	△ 3,190	△ 2,847	△ 2,976	△ 2,902
	事業活動収入計	2,647	2,781	2,923	2,791	2,943
	事業活動支出計	2,481	2,528	2,763	2,781	2,775

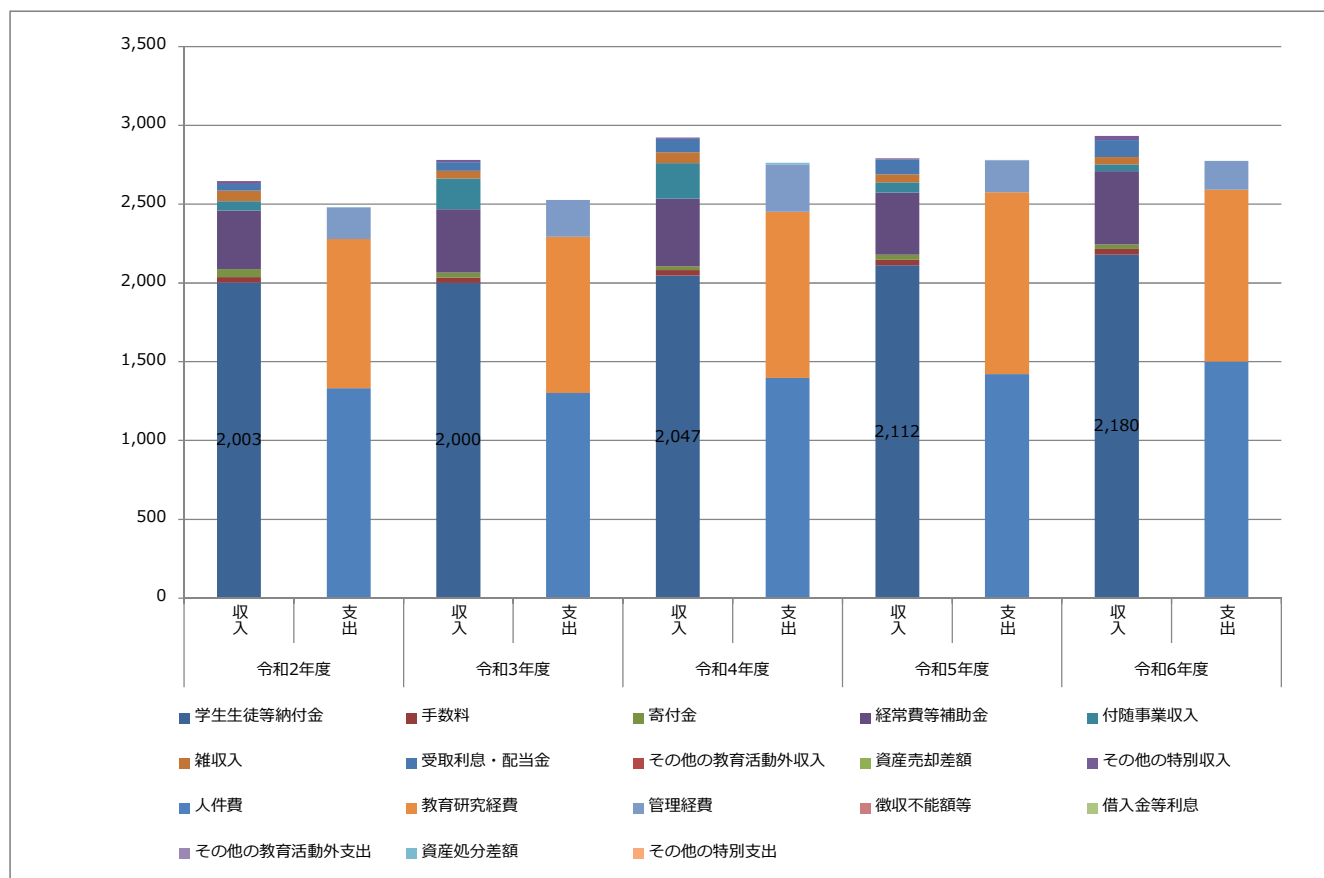
科目の説明
学生から納入された入学金、授業料等
入学検定料、証明手数料等
教育振興寄付金等
私立大学等経常費補助金等
受託研究に係る収入
上記以外の教育活動に係る収入
教職員の給与等
教育研究に要する経費および減価償却額
管理運営に要する経費および減価償却額
徴収不能見込額を引当金計上する場合に使用
施設設備、現預金の運用収入
収益事業収入等
借入金利息、学校債利息等
上記以外の教育活動外に係る支出
資産売却時の帳簿価額との差額
現物寄付、施設設備補助金等
資産を廃棄除却した時の簿価
災害損失、過年度修正額等
将来計画に基づき組み入れる額
企業会計でいう収益
企業会計でいう費用

2 貸借対照表
(令和2年度～令和6年度)

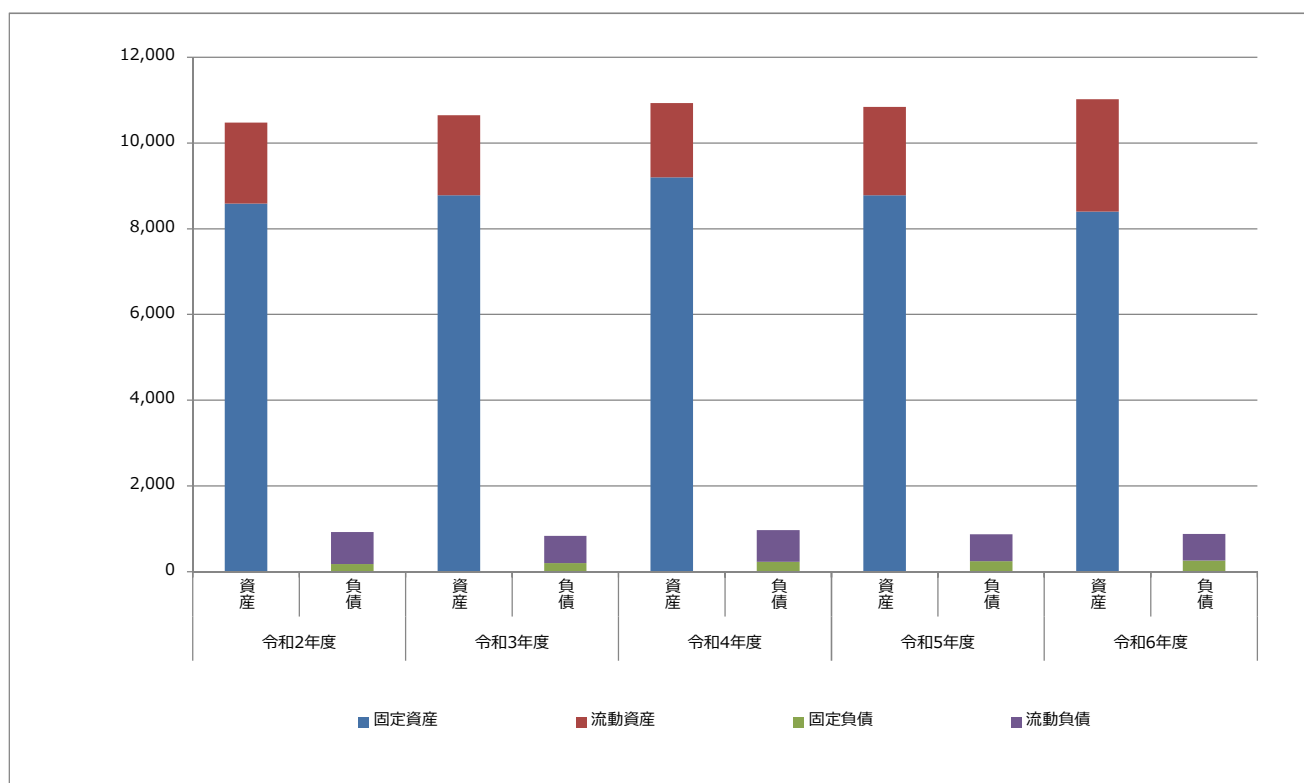
		(単位：百万円)				
科目		R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
資産の部						
固定資産		8,583	8,782	9,198	8,785	8,400
流動資産		1,897	1,863	1,737	2,063	2,622
資産の部合計		10,480	10,645	10,935	10,848	11,022
負債の部						
固定負債		176	196	228	241	258
流動負債		750	642	741	631	620
負債の部合計		926	838	969	872	878
純資産の部						
基本金		13,144	12,997	12,813	12,952	13,046
第1号基本金		12,971	12,824	12,640	12,779	12,873
第4号基本金		173	173	173	173	173
繰越収支差額		△ 3,590	△ 3,190	△ 2,847	△ 2,976	△ 2,902
純資産の部合計		9,554	9,807	9,966	9,976	10,144
負債及び純資産の部合計		10,480	10,645	10,935	10,848	11,022

科目の説明
土地、建物、構築物、機器備品、図書等
現預金、未収入金、前払金等
退職給与引当金
未払金、前受金等
固定資産のうち教育の用に供されるものの価額
恒常的に保持すべき資金の額

(令和2年度～令和6年度)



(令和2年度～令和6年度)



3 財務比率

事業活動収支関係比率

※評価指標 ↑：高い値が良い ↓：低い値が良い -：どちらともいえない

(令和2年度～令和6年度)

比率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	※	算式
人件費比率	50.7%	47.0%	48.0%	51.1%	51.6%	↓	人件費／経常収入
人件費依存率	66.6%	65.0%	68.3%	67.4%	68.8%	↓	人件費／学生生徒等納付金
教育研究経費比率	36.0%	35.9%	36.2%	41.5%	37.5%	↑	教育研究経費／経常収入
管理経費比率	7.5%	8.4%	10.3%	7.3%	6.2%	↓	管理経費／経常収入
借入金等利息比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	↓	借入金等利息／経常収入
事業活動収支差額比率	6.3%	9.1%	5.5%	0.3%	5.7%	↑	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入
基本金組入後収支比率	110.3%	99.2%	98.1%	104.9%	97.4%	↓	事業活動支出／（事業活動収入－基本金組入額）
学生生徒等納付金比率	76.2%	72.3%	70.2%	75.9%	75.0%	-	学生生徒等納付金／経常収入
寄付金比率	2.3%	1.4%	1.0%	1.3%	1.3%	↑	寄付金／事業活動収入
経常寄付金比率	2.0%	1.2%	0.9%	1.2%	1.0%	↑	教育活動収支の寄付金／経常収入
補助金比率	14.4%	14.7%	14.8%	14.1%	15.8%	↑	補助金／事業活動収入
経常補助金比率	14.2%	14.5%	14.7%	14.2%	16.0%	↑	教育活動収支の補助金／経常収入
基本金組入率	15.1%	8.4%	3.6%	5.0%	3.2%	↑	基本金組入額／事業活動収入
減価償却額比率	16.7%	17.0%	15.1%	15.5%	15.7%	-	減価償却額／経常支出
経常収支差額比率	5.8%	8.7%	5.5%	0.1%	4.6%	↑	経常収支差額／経常収入
教育活動収支差額比率	4.2%	6.8%	2.7%	-3.4%	0.9%	↑	教育活動収支差額／教育活動収入計

貸借対照表関係比率

(令和2年度～令和6年度)

比率	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	※	算式
固定資産構成比率	81.9%	82.5%	84.1%	81.0%	76.2%	↓	固定資産／総資産
有形固定資産構成比率	66.6%	63.8%	61.5%	59.0%	55.5%	↓	有形固定資産／総資産
特定資産構成比率	1.6%	1.6%	1.6%	1.6%	1.5%	↑	特定資産／総資産
流動資産構成比率	18.1%	17.5%	15.9%	19.0%	23.8%	↑	流動資産／総資産
固定負債構成比率	1.7%	1.8%	2.1%	2.2%	2.3%	↓	固定負債／（負債＋純資産）
流動負債構成比率	7.2%	6.0%	6.8%	5.8%	5.6%	↓	流動負債／（負債＋純資産）
内部留保資産比率	23.5%	26.8%	28.6%	32.2%	35.8%	↑	（運用資産－総負債）／総資産
運用資産余裕比率	121.8%	137.2%	138.2%	152.3%	169.1%	↑	（運用資産－外部負債）／事業活動支出
純資産構成比率	91.2%	92.1%	91.1%	92.0%	92.0%	↑	純資産／（負債＋純資産）
繰越収支差額構成比率	△34.3%	△30.0%	△26.0%	△27.4%	△29.9%	↑	繰越収支差額／（負債＋純資産）
固定比率	89.8%	89.5%	92.3%	88.1%	82.8%	↓	固定資産／純資産
固定長期適合率	88.2%	87.8%	90.2%	86.0%	80.8%	↓	固定資産／（純資産＋固定負債）
流動比率	253.0%	290.3%	234.3%	326.8%	422.6%	↑	流動資産／流動負債
総負債比率	8.8%	7.9%	8.9%	8.0%	8.0%	↓	総負債／総資産
負債比率	9.7%	8.5%	9.7%	8.7%	8.7%	↓	総負債／純資産
前受金保有率	577.9%	488.5%	436.8%	535.9%	683.3%	↑	現金預金／前受金
退職給与引当特定資産保有率	96.3%	86.7%	74.8%	70.7%	65.9%	↑	退職給与引当特定資産／退職給与引当金
基本金比率	98.2%	99.5%	99.2%	99.8%	99.7%	↑	基本金／基本金要組入額
減価償却比率	54.8%	55.4%	55.6%	58.7%	58.7%	-	減価償却累計額／減価償却資産取得価額（図書を除く）
積立率	53.2%	58.9%	65.7%	66.0%	72.7%	↑	運用資産／要積立額